

妊娠期からの 女性に対する 切れ目のない支援と 他機関との連携 ～メンタルヘルスケアの実践～

児童虐待に関する相談件数は増加の一途をたどり、児童虐待による死亡事例が後を絶たない状況になっています。とりわけ死亡事例の6割を1歳未満の乳幼児が占め、妊娠期からの切れ目のない様々な支援が求められています。今回の研修会ではメンタルヘルス面に焦点をあてながら、周産期の妊婦から母子への切れ目のない支援に取り組む実践事例を学び、これからの課題について考えます。

- 日時 2023年12月3日(日) 午後1時30分から午後4時
- 会場 長野市生涯学習センター 大学習室1

●講師 医師 村上 寛 氏(信州大学医学部/周産期のこころの医学講座)
(講師紹介)日本で初めての周産期メンタルヘルスに特化した大学講座「周産期のこころの医学講座」を創設。信州大学医学部附属病院「周産期のこころの外来」にて妊産婦さんや父親のメンタルヘルスサポートや産後うつ病の治療を行っている。また、市民公開講座の開催や無料の妊産婦さんのお悩み相談、そしてJリーグ松本山雅FCとの「ママサポ企画」の協働など地域に向けた活動も積極的に行っている。

- 参加対象者 児童虐待に関わる司法、教育、保健、医療、福祉等の専門職にある方/定員100名

●参加費 500円(当会会員無料)

- 参加ご希望の方は11月17日(金)までにお名前、所属、職種をご明記の上、当会事務局あてメールまたはファクシミリでお申込みください。

主催 ながの子どもを虐待から守る会/共催 長野県子どもを虐待から守る民間ネットワーク/後援 長野県

ながの子どもを虐待から守る会事務局
TEL.090-7283-5761/FAX.026-268-0009
Email. nagano-mamoru@shopping4.gmob.jp